

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和元年10月】

■ 調査概要（データ対象期間：令和元年10月1日～10月31日）

○調査期間：令和元年10月30日～11月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業25企業、製造業19企業、卸売業14企業、小売業28企業

飲食業17企業、サービス業47企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計150企業>

○調査項目：10月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

### 1. 業況判断

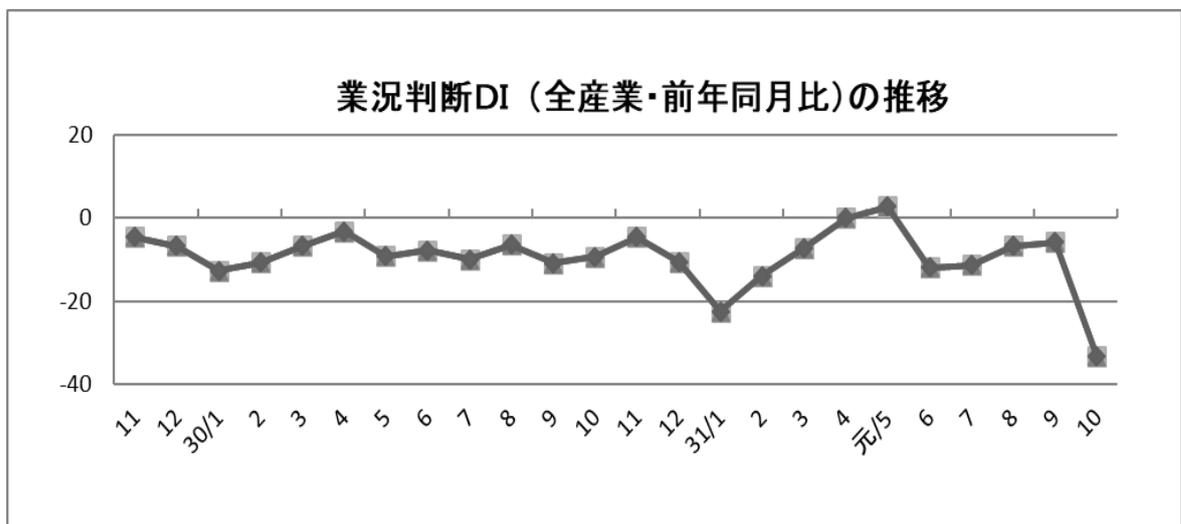
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲5.9）よりマイナス幅が27.4ポイント拡大し、▲33.3となった。業種別では、建設業は横ばい、製造業はプラスから0になった。小売業はプラスからマイナスに転じ、サービス業、卸売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲10.5）よりマイナス幅が22.2ポイント拡大し、▲32.7となった。業種別では、建設業は0からプラスになり、製造業は横ばい、小売業はプラスからマイナスに転じた。サービス業、卸売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	8.7 (17.1)	49.3 (59.9)	42.0 (23.0)	▲ 33.3 (▲ 5.9)	7.3 (17.8)	52.7 (53.9)	40.0 (28.3)	▲ 32.7 (▲ 10.5)
建設業	12.0 (12.0)	80.0 (80.0)	8.0 (8.0)	4.0 (4.0)	12.0 (8.0)	84.0 (84.0)	4.0 (8.0)	8.0 (0.0)
製造業	31.6 (27.3)	36.8 (50.0)	31.6 (22.7)	0.0 (4.6)	26.3 (22.7)	47.4 (54.6)	26.3 (22.7)	0.0 (0.0)
卸売業	0.0 (16.7)	50.0 (50.0)	50.0 (33.3)	▲ 50.0 (▲ 16.6)	0.0 (16.7)	50.0 (41.6)	50.0 (41.7)	▲ 50.0 (▲ 25.0)
小売業	7.1 (30.0)	42.9 (53.3)	50.0 (16.7)	▲ 42.9 (13.3)	3.6 (36.7)	39.3 (30.0)	57.1 (33.3)	▲ 53.5 (3.4)
飲食業	0.0 (6.3)	23.5 (56.2)	76.5 (37.5)	▲ 76.5 (▲ 31.2)	0.0 (6.3)	23.5 (43.7)	76.5 (50.0)	▲ 76.5 (▲ 43.7)
サービス業	4.3 (10.6)	51.0 (61.7)	44.7 (27.7)	▲ 40.4 (▲ 17.1)	4.3 (12.8)	57.4 (59.5)	38.3 (27.7)	▲ 34.0 (▲ 14.9)

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

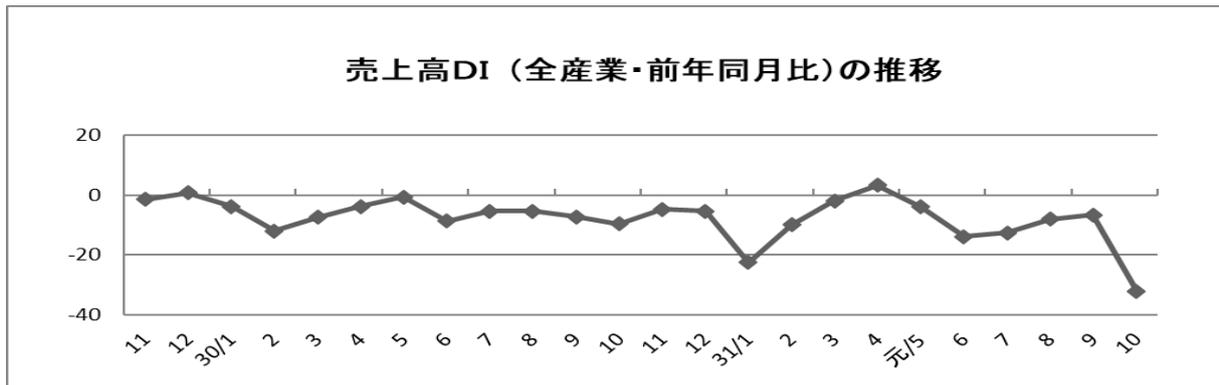


## 2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲6.6）からマイナス幅が25.4ポイント拡大し▲32.0となった。業種別に見ると、建設業はマイナスからプラスに転じ、製造業はプラスから0になった。小売業はプラスからマイナスに転じ、サービス業、卸売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	
全 体	▲ 4.7	▲ 5.4	▲ 9.4	▲ 22.5	▲ 10.0	▲ 1.9	3.3	▲ 4.0	▲ 13.9	▲ 12.6	▲ 8.0	▲ 6.6	▲ 32.0	↘
建 設 業	8.7	14.3	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	8.4	▲ 8.7	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	↗
製 造 業	8.7	▲ 16.6	▲ 19.1	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	↘
卸 売 業	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	↘
小 売 業	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	↘
飲 食 業	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	↘
サービス業	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	↘

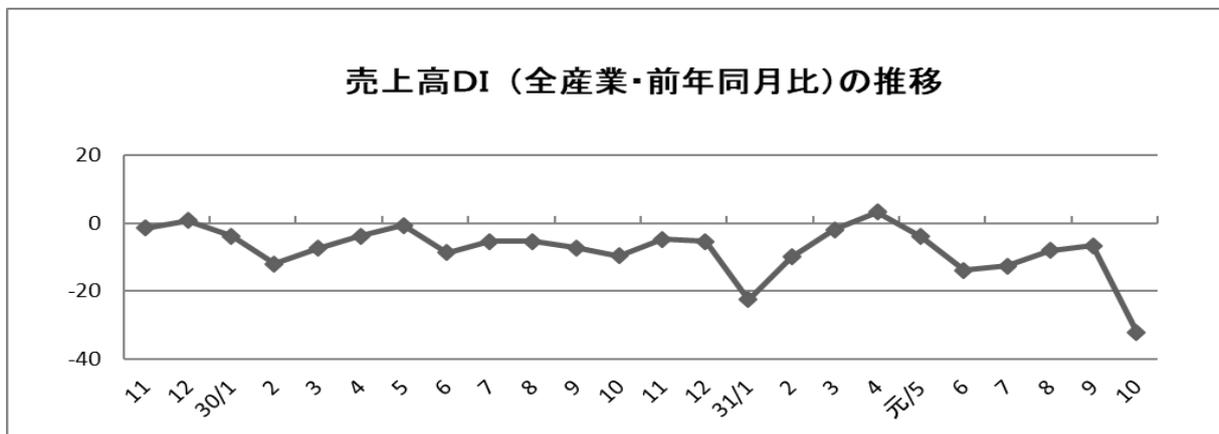


## 3. 営業利益D I（前年同月比）

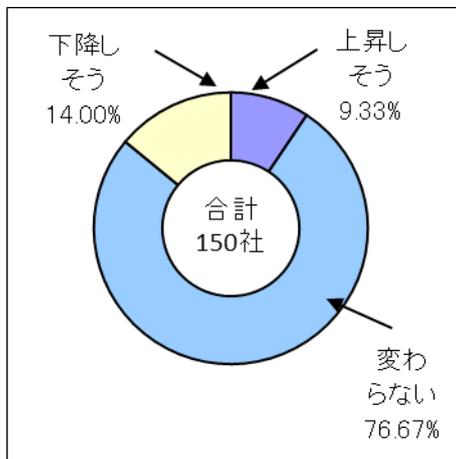
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲11.8）よりマイナス幅が22.9ポイント拡大して、▲34.7となった。業種別に見ると、小売業はプラスからマイナスに転じ、建設業はマイナス幅が縮小した。製造業、サービス業、卸売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	
全 体	▲ 12.7	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 25.2	▲ 13.3	▲ 11.2	0.7	▲ 7.4	▲ 15.9	▲ 15.4	▲ 14.0	▲ 11.8	▲ 34.7	↘
建 設 業	▲ 13.1	▲ 4.7	0.0	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	↗
製 造 業	8.7	▲ 11.1	▲ 23.8	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	↘
卸 売 業	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	↘
小 売 業	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	↘
飲 食 業	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	↘
サービス業	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1	4.3	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	↘

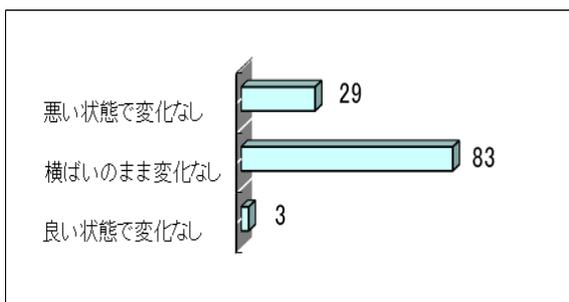


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和元年11月～令和2年1月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ4.07ポイント増加し9.33%、「下降しそう」が5.08ポイント減少し14.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.0)、製造業(▲15.8)、卸売業(0.0)、小売業(▲10.7)、飲食業(▲5.9)、サービス業(▲2.1)であった。

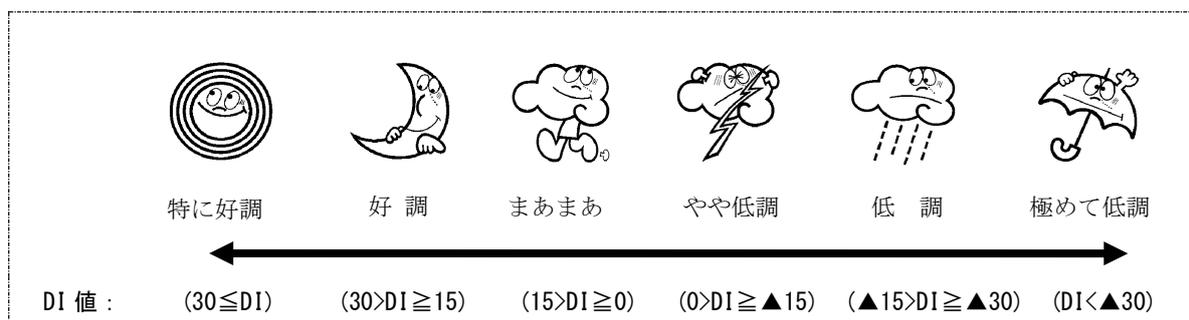
➡「上昇しそう」では「上昇させなければならないため」「公共工事のほか民間受注が入りだしたため」「昨年の猛暑の関係で空調工事が好調のため」(建設業)「新機種の立上げと水害による影響(部品補充)のため」(製造業)「前年度11～1月は暖冬の影響で大幅な単価安だったが、今年は反動で上昇すると思われるため」(卸売業)「クリスマス、年末年始のギフトなど繁忙期に入り始めているため」「時期的な要因のため」「キャッシュレス決済還元の影響があるため」(小売業)「年末に向け飲み会が増え、12月、1月の予約が昨年より多いため」(飲食業)「現在仕掛中のプロジェクトの検収と回収が見込まれるため」「台風災害による復旧業務のため」「10月があまりにも悪かったので、11月に期待するため」(サービス業)といった声が寄せられた。



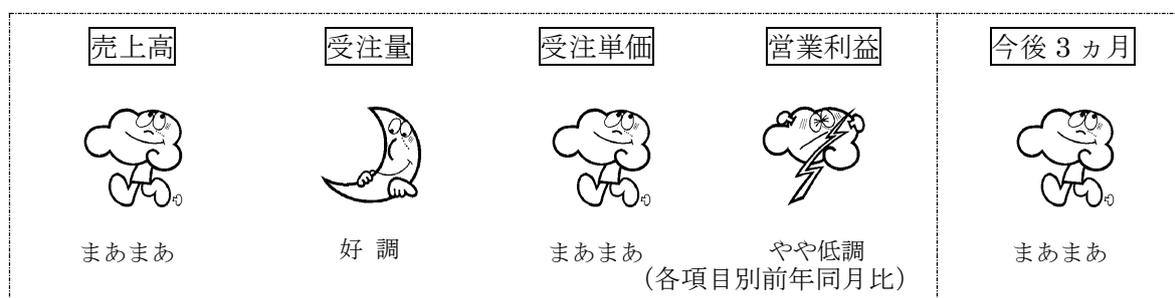
➡「下降しそう」では「目先は忙しいが、利益率は下降しそうなため」「公共工事の発注が減少のため」(建設業)「受注が減少するため」「季節的な要因のため」「10月が特異的に良かったため」「10月は割と良かったが、続くか心配なため」(製造業)「品物の動きが悪くなってきているため」(卸売業)「消費税増税による購買意欲の減少のため」「災害のため」「消費税増税により買い控えが起きているため」「寒くなるため」(小売業)「例年通りのため」(飲食業)「シーズン終了に伴い閑散期に入るため」「消費税増税による影響のため」「9月迄の前倒し受注により10月以降の受注に影響が出るため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <D I 君の景況判断>



## 1. 建設業



### 【項目別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	8.7	14.3	0.0	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1	▲13.1	▲8.3	0.0	▲4.0	4.0
受注量	▲8.7	9.5	13.7	▲10.0	▲12.0	▲16.7	▲8.7	▲8.7	0.0	▲12.5	4.0	4.0	20.0
受注単価	▲4.4	4.8	4.6	5.0	4.0	0.0	0.0	▲4.3	▲8.7	0.0	4.0	▲4.0	0.0
営業利益	▲13.1	▲4.7	0.0	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1	▲17.4	▲16.7	0.0	▲8.0	▲4.0
見通し	4.4	4.8	13.7	10.0	12.0	▲4.1	13.1	13.0	4.3	8.4	▲4.0	▲4.0	4.0

## <経営者の目・見方・e t c >

総合建設

・台風19号による松本建設事務所管内の災害復旧費は8億円を超える見通しだそうである。

建設業

・台風の影響があり、既存現場の進捗に影響があった。  
・台風が原因の土木災害が発生し、その対応に追われた。今後も台風災害関連工事が発注されるのではないかとと思われる。

建築工事

・工事量が増える見込みの中、技術員、技能員不足が問題になっている。  
・このところの低迷から漸く公共工事の入札や民間からの受注が増えだし安堵している。

管工事

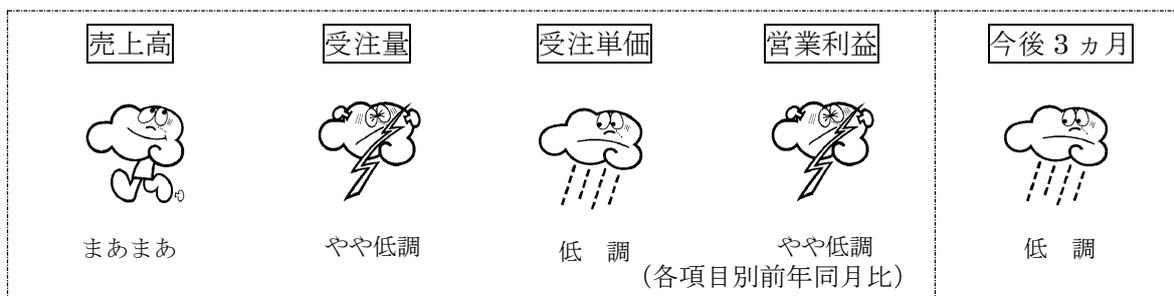
・一般建築での設備工事の受注内容が、施工者が直接見積りが出来ず先方の金額に合わせる方式のため利益が見込めない。  
・仕入高が上がらなければ苦勞するのみである。

鉄工

・年明けから来夏に向かって業界を取り巻く状況は厳しくなりそうである。受注において注意しつつ、慎重に考えていきたい。

- ・当社の顧客となるゼネコン会社も比較的良好な受注状況のようである。
- ・今夏以後、入札物件の下限(失格基準)が2.5%引上げられ、環境は改善されている。
- ・消費税増税の影響がボディブローのようにジワジワ効いてきている気がする。

## 2. 製造業



### 【項目別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	8.7	▲ 16.6	▲ 19.1	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0	4.4	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0
受注量	8.7	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 40.0	▲ 5.0	0.0	8.7	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	4.5	▲ 10.5
受注単価	▲ 8.7	▲ 16.7	▲ 9.5	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 10.0	0.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	▲ 18.2	▲ 15.8
営業利益	8.7	▲ 11.1	▲ 23.8	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5
見 通 し	▲ 8.7	▲ 11.1	▲ 14.3	12.0	0.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 14.3	0.0	▲ 9.5	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.8

### <経営者の目・見方・e t c >

印刷

- ・消費税増税による9月の駆け込み需要の反動が想定外に大きかった。例年と比べると9月と10月が入れ替わった感じだが、消費税増税の影響が11月から12月と出てくるとすると更に厳しくなる。
- ・中小企業庁から、消費税増税Gメンのアンケートが届いているが、皮肉なことに地方印刷業は印刷用紙の値上げにより、消費税増税分の議論以前に用紙の値上げ分の交渉で苦戦している。世間相場の極端なデフレと用紙の値上げにより、増税分の議論にまでたどり着かない。
- ・例年通り、行政官公庁の予算見積りの時期が来ている。印刷用紙不足や、用紙の値上げ分をキチンと予算見積りに反映しない、反映出来ない悪質業者には速やかに業界から退場してもらいたいものである。
- ・この景気動向調査票のレポートを見る限り、建設業では総合建設業の情報として入札や随意契約に関する何らかの設定金額を上げるとか、設定パーセンテージを上げるとかの情報がほぼ毎月発信されているが、印刷業界内ではほとんどと言っていいほど存在しない。情報の抱え込みも含めて地域内で売上高トップリーダーの地元業界全体への発信力が疑われる。官公庁と組合とのやり取りや、交渉らしき様子も長年(何十年レベルで)見当たらない。そのために、その設定を平気で下回るような見積りや入札での札入れが悪質デフレ業者によって起きてしまって、業界自身で首を絞める結果になっている。

精密機械  
 小型情報機器組立  
 金属塗装  
 酒類

- ・単品加工はあるため業況には変化はない。
- ・本年度の11、12月までは横ばいと計画されているが、来年度の事はまったく分からない状況で先を見る事が出来る状態ではない。
- ・米中貿易摩擦の影響が心配である。
- ・消費税増税により、9月の駆け込み需要の反動で、消費が冷え込んだ。それに追い打ちをかけて、台風による被害、交通網の寸断、観光客の足止めなど、観光地の客足が落ち込んだ。松本自体は被害がほぼなくても、周辺の被害、あるいは北信の壊滅的な被害などの報道により、消費マインドがかなり下がってしまった。徐々に回復はするものと思われるが、暮れの需要期に向かって、かなり厳しい状況である。

### 3. 卸売業



#### 【項目別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3
販売客数	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 7.7	0.0	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6
販売客単価	14.3	▲ 7.7	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7
営業利益	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0
見通し	0.0	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	7.7	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0

#### <経営者の目・見方・etc>

土産品

- ・台風と大雨の影響を受け、大変厳しい10月であった。観光地は、秋の行楽シーズンの中、交通網が寸断されるなど売上にも大きく響き、現在も苦戦状態である。

金属製品

- ・台風の影響により一部建機メーカー主体に部品調達が難しく、生産調整を余儀なくされるため、流通の物量に陰りが見られる。
- ・建築業界はボルトの納期遅れ問題により、鉄骨造から鉄筋コンクリート造へ切り替えるといったケースが出てきた。

青果

- ・9～10月期の台風被害により、全国規模で1,700～1,800億円の農林水産被害額と報道されているが、実際には更に拡大すると予想される。安価な輸入品へのシフト等不透明な要素はあるが、総じて農作物の単価は高値基調になると思われる。

鮮魚

- ・台風19号の影響が大きく、卸先の県外客のキャンセルに伴い、受注の減少が響いた。

## 4. 小売業



### 【項目別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3
販売客数	▲ 26.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 37.0	▲ 16.0	▲ 12.9	3.6	▲ 3.6	▲ 31.1	▲ 35.5	0.0	0.0	▲ 42.9
販売客単価	▲ 13.4	▲ 3.4	0.0	▲ 14.8	4.0	▲ 16.1	▲ 7.2	▲ 7.2	▲ 20.7	▲ 6.5	3.4	3.3	▲ 35.8
営業利益	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4
見通し	0.0	0.0	▲ 9.1	0.0	4.0	6.4	3.5	▲ 10.7	▲ 17.3	▲ 16.1	0.0	▲ 26.6	▲ 10.7

### <経営者の目・見方・etc>

印章

- ・クレジットカードやQRコード決済のお客様がかなり増えた。5%還元が後押ししているのは間違いない。
- ・台風19号の豪雨災害直後にも関わらず、18日金曜の山雅のナイターには今年最多の観客数を記録した。「そば祭り」の中止は残念だったが、多くの方が災害に遭わずに済んだので実行委員会の英断を讃えたい。
- ・全国的にラグビーワールドカップが盛り上がった。ルールを何度も丁寧に解説していたのは、初心者を引き込む戦略として素晴らしいと思う。

印章・刃物研ぎ

- ・台風19号と豪雨による災害で、交通、流通の麻痺は思いのほか酷い状態である。北信の同業者にも被害が及び業界でもお見舞いをさせて頂いた。

生鮮食品

- ・10月から消費税が上がったが食品に関しては変わらないので、去年よりずいぶん売上が多かった。
- ・台風19号の被害に遭われた方々に対して、余りに大変で胸が痛い。そんな時、昼前に閉店と決断した大型店もあり、危機管理の大切さを考えさせられた。

洋菓子店

- ・繁忙期手前の月だったので、コンクールやこの先のイベントに向けた準備が多かった。種は沢山蒔いたので、今後の収穫が楽しみである。
- ・ケーキ屋は農家さんあってこそなので、今回の台風被害は大変気になる。一事業所として何ができるのかではなく、ケーキ屋業界として何ができるか考えていきたい。

パン

- ・労働の「条件」が大きくクローズアップされた「働き方改革」である。大変危惧している。

ショッピングセンター

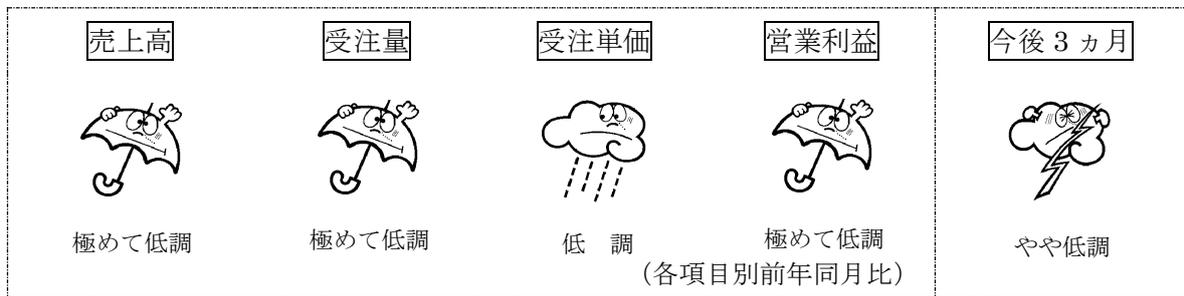
- ・増税の反動、台風被害などマイナス要因が大きく影響した月であった。9月の消費税増税駆け込みは直前だったのに対して、反動は長引きそうな気配である。

住宅機器

- ・9月の駆け込み需要が残り忙しい月であった。

化粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の駆け込み需要の反動が大きく感じる</li> <li>・必要を感じなければ、心に響かなければ、購入に向かわない。アプローチの仕方を考えないといけないと感じる。</li> </ul>
陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税増税の反動なのか、台風の影響なのか、そもそも景気が悪化しているからなのか分からないが、売上は低調だった。幸い台風の直接的な被害こそなかったものの、イベントの中止や首都圏との交通が長期間途絶え、街中の賑わいが失われた。</li> <li>・キャッシュレスでの支払いが目立って増加した。</li> </ul>
婦人服	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税増税後の落込みを考えて仕入を少なくしたが、クレジット利用での5%割引等、5%から8%の時のような大きな落差がなく10月を終えることが出来た。客単価、セット率が上がったことが良かったが、今後商材が少ないのが悩みである。</li> </ul>

## 5. 飲食業



### 【項目別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5
販売客数	▲ 11.7	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 23.6	▲ 41.1	▲ 16.7	11.1	5.5	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 37.5	▲ 70.6
販売客単価	▲ 5.9	▲ 27.8	▲ 16.6	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 27.7	0.0	▲ 5.5	▲ 23.5	0.0	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 17.6
営業利益	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4
見通し	17.6	11.1	▲ 11.1	0.0	11.7	▲ 11.1	0.0	▲ 5.5	11.7	0.0	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 5.9

### <経営者の目・見方・etc>

料理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化の流れで暴風、豪雨と世情が悪くお客様との会話が少ない月であった。</li> <li>・台風と消費税増税による影響なのか、売上が前年比70%以下という結果に終わった。風評や交通機関の断絶など原因は多数あったと思われる。</li> </ul>
郷土料理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号の影響で、交通機関の不通に因る予約の取り消しや、観光客の減少で売上が大幅に下降し厳しい月であった。その後客足が戻り始めているので期待したいと思う。</li> </ul>
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風、消費税増税と景気が悪くなる事が続き、天候不順により、野菜類が値上げになり困っている。</li> </ul>
そば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風の影響で、千曲川の氾濫、交通網の寸断など甚大な被害が東北信で発生し自然災害の恐ろしさを間近に感じた</li> <li>・台風、大雨が悪影響を及ぼした。</li> </ul>

寿司

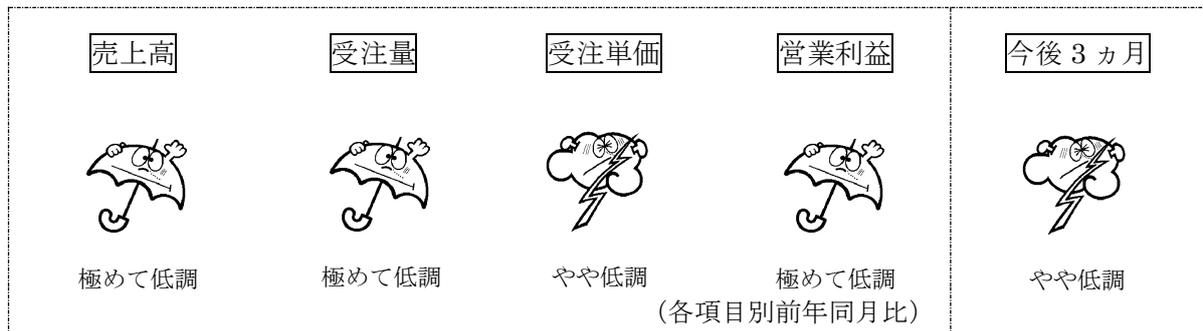
・10月末まで台風の影響が残っていた。直接の被害がない事をありがたいと思うと同時に、被災された方が早くいつもの生活に戻れることを祈るばかりである。

ラーメン

・台風の影響で「そば祭り」等のイベントが中止になり、予定が大きく狂ってしまった。加えて消費税増税が消費者の警戒心を募らせ最悪の月であった。

・台風と消費税増税による売上低下が続き、あまりにも良くない月であった。今後どうなるか心配である。

## 6. サービス業



### 【項目別DIの推移】

	30年10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7	6.4	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1
販売客数	▲ 7.0	0.0	▲ 9.5	17.0	2.1	4.4	4.3	0.0	4.3	▲ 8.3	2.0	▲ 14.9	▲ 40.4
販売客単価	7.0	4.0	0.0	▲ 2.1	6.2	6.7	▲ 4.4	2.1	2.1	▲ 6.2	6.0	▲ 6.3	▲ 25.5
営業利益	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1	4.3	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9
見通し	▲ 7.0	▲ 4.0	▲ 2.3	10.6	16.7	8.9	4.3	8.4	6.4	▲ 2.1	▲ 12.0	▲ 14.8	▲ 2.1

### <経営者の目・見方・etc>

自動車整備、  
板金塗装

・異常な天候で日本各地に災害が起きて、各業界に影響が出てきていると思われる。被災した方々にはお見舞い申しあげ、一日も早い復興を願っている。

観光旅館

・10月は台風などの天候不順や、首都圏からの交通の隔絶によってキャンセルが相次ぎ売上は落ちた。その中で海外のお客様はJRパスなどを利用して遠回りしてでも来ていただき助かった。温暖化により、紅葉の時期が遅れており、11月の連休も景色が楽しめるので期待している。

温泉旅館

・台風の影響でだいぶキャンセルが出て途中売上が悪かったが、後半盛り返した。

・観光とビジネスは例年通りであると思われる。寒期に向けて心配である。

・台風によるキャンセルが多かった。

旅館

・台風19号の影響で直接の被害が無かったものの、交通網の寸断で多大な影響があった。

・台風による影響で最悪の状態である。

宿泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末は全て天候に恵まれない(天気予報者による報道)シーズンであった。特に台風15号での千葉の災害、10月10日からの台風19号報道、県内災害、交通網の寸断を受けて多数のキャンセルがあり大変な10月であった。</li> </ul>
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税増税の影響に加え台風での鉄道、高速道路切断が加わりキャンセルが多かった。11月からは戻りそうな気配がする。</li> <li>・台風によるキャンセルが多かった。</li> </ul>
リラクゼーション タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったより消費税増税の影響はなかった</li> <li>・台風の影響等により天気の悪い日が多かったため、客数が少なく売上は悪かった。</li> </ul>
獣医	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛玩動物看護師法が成立した。令和5年度に第1回目の国家試験が実施され、動物病院等で国家資格を有する「愛玩動物看護師」が誕生することとなった。</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ、自社でIT専任者を迎え、システムを基盤にした事業展開を図る顧客が増えていると感じる。そうした現場では、高額なコンサルタントやSIer※に出番はない。システムが後回しになる顧客環境では、本来削減できるはずのコストに気づいていないと思われる。</li> </ul>
システムサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税増税、法改正特需が一段落し、予想通り反動で受注に減少の傾向が出ている。</li> </ul>
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の一部の業種は厳しいようである。</li> <li>・何とか切れ目なく仕事は続いているが、忙しさはない。</li> <li>・新しい生産試験機を納入したので、次が楽しみである。</li> </ul>
測量・建設コンサル タント業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号による災害の業務を、協会をあげて対応している。他の業務もあるうえ、被害も大きいので大変だが、1日も早い復旧、復興を目指して尽力したいと思う。</li> </ul>
ホームクリーニング・ リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定した通り台風19号の影響による交通網の寸断により、観光客の入りが減少しリネンサプライ業の売上高及び営業利益が減少した。</li> </ul>

※ システムを構築する際に、ユーザーの業務を把握・分析し、ユーザーの課題を解決するようなシステムの企画、構築、運用サポートなどの業務をすべて請け負う業者が SIer である。(参考資料 [IT用語辞典バイナリ](#))